2017年7月の格言

平成２９年７月の格言は

開発部門は独立させ
社長直轄とせよ

未来事業はそれが新商品の開発であれ
販売促進であれマーケットの開拓であれ
現事業と完全に分離しなければならないのである

現事業と未来事業を兼任させるくらいなら
むしろ未来事業などという
きれいごとはやめた方がよい
形だけつくっても
実質的には何もないのと同じだからである
人がいないというなら
社長自ら取り組むべきである
それが出来ないなら
専任者を置くということになるのだ

次に未来事業部門は必ず社長直轄でなければならない
専任者を技術部長などのもとにつけるようなことをしてはならない
現事業の兼任と同じことだからである

もし未来事業部門を社長直轄としなければ
わが社の将来の運命を決める
未来事業を社長自らやらないということになる
こんな大きな誤りはない

一倉定先生著「一倉定の経営心得」事業活動の本質より

2017年6月の格言

平成２９年６月の格言は

単品では
事業になりにくい

私のところに新商品の相談に来る会社のほとんどすべてが
単品だけをひっさげてくる
しかもその大部分が日用品雑貨類である

単品だけを考えるのは
事業を知らないからなのだ
単品だけですぐに
商売になると思いこんでしまい
まずチラシをつくって
特約店を募集しようとする
特約店は直ちに見つかりたちまち売上が伸びると
思いこんでしまう
そしてその夢は実現しない場合がほとんどなのだ

新しいマーケットにいきなり単品で乗りだしても
おいそれと売れるものではない
仮に販売が成功したとしても
販売費が割高になって
採算を維持することは極めて難しい

もう一つの欠点は「陳腐化」である
もしも陳腐化したらそれで終わりである

新商品を事業化するには
単品ではなくて
どうしても「商品群」の

開発を考えなければならないのである

一倉定先生著「一倉定の経営心得」事業活動の本質より

2017年5月の格言

平成２９年５月の格言は

新商品は
「それを誰が買うか」を
一番先に考えよ

新商品は「それを誰が買うか」を
一番先に考えるのである
顧客と思われるところに現物見本を持って行き
売れるかどうかを確かめてから
新設備なり新会社なりをたてるのであって
まだ売れるか売れないかも分りもしないうちから
製造する事をかんがえてはいけないのである

新事業お・新商品の難事中の難事は
「販売」である

今まで世の中になかった商品は市場が無い
消費者やエンド・ユーザーは
その商品のあることを知らない

販売実績のない商品は流通業者は
扱いたがらないという
全くゼロの状態から出発しなければならない

だから不用意に走り出すことは
絶対に慎まなければならないのである
そして早急に成果を期待せず
長期的な育成をはかることが肝心である

これが成功へ導く秘訣である

一倉定先生著「一倉定の経営心得」事業活動の本質より

2017年4月の格言

平成２９年４月の格言は

「危険がない」
と感じた事業こそ
失敗の危険が大きい

ブームというのは
供給過剰の直前の状態だと思うべきである
その時に乗り出してもすでに時機を失っている
だからブームになったものは
いくら食指が動いても

絶対に乗り出してはいけないのだ

特に大企業が乗りだしたときは
供給過剰が間違いなく起こると思ってよい

新事業のタイミングというものは
まだブームにならず
先行きがどうなるか見通しの難しい時に
あるのだということを知らなければならない
そして、その時には失敗の危険も多いのである

危険のないと思われるときは
すでに時機を失っているのだ
「危険がない」と感じた事業こそ
失敗の危険が大きいのである
「成否相半ばする」と感じた時が
「失敗の危険の少ない最後の時期」
というべきである

新事業を興すタイミングは難しい
その難しいことを決めるのが社長である

一倉定先生著「一倉定の経営心得」事業活動の本質より

2017年3月の格言

平成２７年３月の格言は

社長とは
企業の将来に
手を打つ人である

新事業というものは、それが軌道に乗って
わが社の収益の柱になるには
少なくとも３年はかかると思わなければならない

ということは
３年後のことを今日から始めなければ
間に合わないということを意味しているのだ

私が会社のお手伝いをして
まず短期経営計画を社長と共に作り上げると
そこには大きな収益不足が生ずるのが常だ

その収益を売上高に直すと、その大きさに
たいがいの社長がびっくりしてしまうのである

ということは
社長が如何にわが社の将来
それもたった１年後のことである
を知らないかということを意味している

前向きに物を考え、前向きに手を打つ
これが社長の仕事である

社長とは企業の将来に関することをやる人である
そして
それは社長以外には誰もやってはくれないことなのである

一倉定先生著「一倉定の経営心得」事業活動の本質より

2017年2月の格言

平成２９年２月の格言は

どんな優れた商品でも
斜陽化してゆくことは
避けられない

どんな優れた商品でも
斜陽化してゆくことは避けられない
という社長の認識こそ大切である
この認識の上に立って
わが社の将来を考えなければならないのが
社長である

商品が斜陽化していく限り
わが社の現在の商品が
わが社の将来の収益を
保証することはできないのである

とするならば
わが社の将来の収益を得る為の商品を
まだ現在の商品の収益力が有るうちに
開発しておかなければならないのだ

社長たるものは
現在の好調に酔うことなく
たえずわが社の商品・事業をチェックし
長期的な視野から
どうすべきかを考えていかなければならない

一倉定先生著「一倉定の経営心得」事業活動の本質より

2017年1月の格言

平成２９年１月の格言は

平成２９年の予想
丁酉
（ていかのとり）

干支暦では「丁酉」（ていかのとり・ひのととり）となります

干支の干にあたる丁（ていか）は中国の・り中位算きまな絶を丁
星たとに　たつるが力　達、意せ、あ
・金あ北方す。　べ分努り、伝どく徴が西
・に南ま火、　す。　自　ま信、なる特ド・
星陰西はし灯まを　しつ　る明る意味が
・土星の東で味やい薪り　夫。通すをせ　プライ
星・星を中意力てにま工す。　を人寄　争・
火の五行たを子え常つちまさ夫はき　闘
・ちはふ　夏原例は　持しる工に引　陰の金星の
星う丁りばを火火で心しさ自い人時を　西方、
る木のち割え丁のの要関てかに寒　星は、
る素わに言の工必にえ温為くに、　陰の
ある要なに回でこ人人が火消なく暗故では、
で五す方節はのの夫のとか開りが学す。
説の　。五李でどこ工そいのをあるす命ま
行星すのし学な　のずなは来がめま算り
五水ま五貴命火りどえしは未味温りはあ

年の干支の十二支の方は酉です

十干の丁と十二支の西を合体させた総体的な運気をまとめてみましょう・９年丁酉の年は、平成２年までいるけど目どるつをががそ。を今れ行類日たま９地３原れ死し、明原名・７建力し行リ保月が力名年が助で事ま意あ何れお得後たのの本のし５を月子ま者クた安７者子声・十干の丁と十二支の西を年語最言ーつ広目を東家毎て行過２隊関条沈験日ま死の点気品などの意味が西の力の落のと終をは与がご格国年し施通３測内立丸月実始県界品にが必席西夫すでやめ１にこ役と、年りでしげ22時は南一体約五北川５爆米で城臨した常勢が寄『席』の着年が運が資す。国とに を和観岸設水訪雨次がりました運力は、す。夜るつ決の目何にまはてる年代昭極次が豪炉灯ました西年か素めて事運命を代憲50年設欧州共た方ス６条約研究所の火が灯ました。年は、努は、り味るらを勧るの算年時国でた７建力し行リ保月が力名年が助で事ま意あ何れお得後たのの本のし５を月子ま者クた安７者子誉すだになめ。め要分らす格。ま施種。しき１基。州さ、スま代た不の名そせに味人常用務すと必目たま資と生法五すま行（和立欧印故リい時し万村し

ソ連のウラル地方で発生した原子力事故が発表されました。１０月、ソ連が人工衛星スプーニク1号の打上に成功、１１月、日本原子力発電が設立、１２月、日ソ通商条約が調印されました。

日本国の運気と経済動向で

平成29年は、わが国の経済が崩壊し、激動の年となりました。平成19年から始まった景気後退は、平成29年に終わりました。

平成29年は、今年は、昭和42年に始まった高度経済成長が、昭和50年代に入り、石油ショックを経て、平成3年に崩壊し

もま慎に一局価ク　　あ
てきに圏はのッかいけすをプ
して上都ら隆産ピ年違向ま夢ッ
に以首か下動ン約2間にきてト
れとではれも不リら事うえあ業
それま沌ま産こりのオか事うえあ業
混今動よで京れえとも中う
すとは不す昇方東こ増ク資のい
ま段貿で上地がッ投問う
り一売いちはたす。資ピの傾そ
なほのさ打てます。ま投ン業の
く済株下頭い。きり共リ企代ひす。成ませろが職業ま、まるたかたて命昨に
高経やてに除す続な公オも時及までがまあ員理企いがりとああつまっ運るんく
は治替っ既をまがには。資な間び人織りで社管な言人かにがに持わ①すすせか
価政為ざさは域り迷後半ん投う人伸は組あ業いい々らた分業スるをり変トでくまら
株のでなて地人低年年せ共よたが中やは企良良色かっが企ンえまがンン事良け柔
ば界のにいのには32ま人のっけの業で小くた年象あの小ャ辺構決欲イるをいを
れ世す重お部面格はらりてこ持だ世企言中なま長印がる中チを心が意ポす年は心

て過も係た気いのな年な質の覚来てんす。
もと関し、しすき運てらきの様のへ自りっせで
そてうにすまてのきか大こ の員事今年の
模まび見プて西に ど社仕り年でける
っろ規び伸をッっの中すがるのあ今りいき
まとでの伸も気ト人工のまプく員に、ネは生
い第業業は業運のての乱りッて社心掛ける中年ンでに
て次企企業企の織し回波入トしる の今マ心き
っ人大も企る織組と今 に、社いすきり い向
立に。とるい組と員 は代て入在ま動よ 固前
りさんういがやす社すて時っで現来は年は て
成ませろが職業ま、まるたかたて命昨に し
でがまあ員理企いがりとああつまっ運るんく
人織りで社管な言人かにがに持わ①すすせか
資な間び人織りで社管な言人かにがに持わ①すすせか
は組あ業いい々らた分業スるをり変トでくまら
中やは企良良色かっが企ンえまがンン事良け柔
の業で小くた年象あの小ャ辺構決欲イるをいを
世企言中なま長印がる中チを心が意ポす年は心

中小企業の生き方です

うに良て好たもらりもな谷たり又で落へすか人ま気所がく使中はて　はってかあ山ぱのい下　のに次に何る恵になト付の命し　と気かいん。事谷ぼっしづは　む単て切　えはれ近ン気す、き運っ　運良てせすりけりな近次　す。込いっ大と考とそ身ヒに で動て　じ　がしまかあ歩がぱに　でち思持をう　恵は事はしで　で住り動山を上っ上に要落とを恵言　と知いに、な在す命す屋ら、ま安あをは球　り頂ず肝らる自知とうしる元た存か運か部た今には体に地し下がらがたれ希③せよかあ足　新の動は動　いい　れ証す生　か　分な事っ登　出べし　そ動で　暗てたそ保ま人　し　自にる思に　す。　を　の　く も体学　いま　る②す。ば、慢めと山くで恵浮る、自分拓りす。なのです。も命す。つ　なは、で。れ。傲締るはなき知いす知　切ま切頭算まん。てくにう事すけん。きい次はべ　思でを。をい大は　いせかんっ良年よるま無せら引て　です。をう事す代て番に。言まばせいが新しすりもまたをっ　のをす事よるで時っ一為すとり息まと年るま覚あ山りっ身向くむ備でない事の眠のでりなめしらのため目ものあ思とにな込準事た多てく次山が、そ事あくた転か次来始と谷しもとだ谷はちのる新かれづに沢事

社会現象です

代金の時代です。癌の時代です。癌は当然、年ょうもコまったく免疫病になるスず、又、代わってソいなす。と鬱為き期にこ中災一下レら時ないまとえパてにまいしな下向な時ゆおすはケてストがい。明いえだ増やえりりなそらくのら起がま期るい上が無透も増トがホ増こなめ。なこさびん得時ゆおて

言ってが低癌マが肩にをで病鬱い事回すが、震り起てに

言っ気の癌ス、ース溜すにでなら再せりのらて

病な免疫今、ケ原因レはない血のです。地はかすっ分

様な病の会もたっトに摂いさ残頭や社会現象ですが、はつま思十

よる社会年配者るっ病スによる残頭やの会まもいくいうを

に年配者見なのに繁悪がは、繁あをとりながさどはしりに

繁年見なのに繁悪がは、繁あをとりながさどはしりに

頻繁に頻かれにはコいるに延心配ほのなた既

繁に頻かれにはコいるに延心配ほのなた既

繁に頻かれにはコいるに延心配ほのなた既

その原因は表向きは務めた会社が悪いとか、
政治が悪いなど言えるかもしれませんが
一番悪いのは自分自身です。
プロは専門分野では素人の100倍も学ぶと言われています。
プロは歌手や野球選手だけではなく、通常の仕事でもプロはプロ
ですがサラリーマンの多くは、その自覚が不足しているようです。
自分の専門分野でもいいし、趣味の分野でもいいですが、
人の100倍集中してみて下さい。
あるいは毎日一時間10年続けてみて下さい。
すると間違いなくプロになります。
一度プロのレベルに達したら、収入も増えますし、
定年も関係無くなります。
この時代は、学歴も経歴も関係ありません。
どれか得意な分野に徹してみる事です。
それが自分の未来を大きく開きます。

海外の動向

【米国】
大統領選挙の結果、事前の大方の予想に反して、
トランプが勝ちました。
その結果世界の多くの国々はパニックになっています。
確かにトランプの公約は驚くべき内容が多かったようですが、
米国の場合、当選後公約とは
正反対の事をするケースも多いようです。
トランプは七転び八起きをしたビジネスマン、移り気的なので、
理があるかと思うとすぐに政策を変えるでしょう。
当初は混乱があっても、私はさほど心配はしてません。
実はヒラリーは申酉天中殺つまり今が天中殺、又、
トランプも大運天中殺の後半に入ってきており
どちらが大統領になっても喜べなかったのです。
つまりこういう二人しか大統領候補にな

れなかったという事で
米国の運気は衰運に入っているという事であります。

【ドイツとフランス】
ドイツのメルケル首相は申酉天中殺、
つまり平成29年も引き続き天中殺の年となります。
国内に数多くの難民問題を抱え、
又、大手企業の弱体化もあってメルケル首相の運気は
一段と落ちていきます。
一方フランスでは、地上最悪の大統領だと言われている
オーランド大統領ですが今年は若干運気を持ち直しますが、
引き続き、低迷期にもなります。
【ロシア】
ロシアはプーチン大統領の運気が悪くはありません。
この年は和合の年となりますので、米国、日本、欧州各国
との間で和解が進み経済面でも立ち直りが

見られる様になります。
ただし大統領の健康運が少々下がり気味なので、
体調不良が予想されます。頑健な大統領でありますが、
この1年は注意が必要です。

【中国】
周近平主席は申酉天中殺ですので、酉年の天中殺が続きます。
申の年では南シナ海で主張してました中国の領有権が
仲裁裁判所で否定されました。
この酉の年も運気は低迷なので海外に積極的に出て行っても
成果は少ないでしょう。
この年、中国政府の執行部が大幅に入れ替わりますが、
人事で失敗する懸念もあります。
尚、中国経済は懸念材料も色々ありますが
何とか最悪の危機はとりあえず脱却した様に思えます。
ただ、大手の国営企業が数多く続く限り

いつ経済が大暴落してもおかしくない状況にはあります。

【韓国と北朝鮮】
韓国の朴大統領は、申酉天中殺なので、
申年に引き続き酉年も天中殺となります。
朴大統領はまさに天中殺の現象が出てきています。
現職の大統領で政治疑惑が明らかになり、退陣要求を強く
求められていて何があってもおかしくなく余談を許しません。
韓国は歴代大統領のほとんどが退任ののち、
逮捕されたり責任追及されたりしています。
他国には例が無い異常さを感じます。
国民が追求をするのは理解できます
が1987年以降、
盧(ノ)泰(テ)愚(ウ)以降、かの国の大統領は全て国民の
直接選挙で選んだので、国民にも責任があります。
かつて後(ご)藤田(とうだ)正晴(まさはる)

官房長官が
国民の意識以上の政治家は生まれないと言った
言葉を思い出します。
北朝鮮の金(キム)正恩(ジョンウン)は、
呑んで食べて遊ぶのが好きな凰閣星が三つ
赤ちゃんの星である天印星が二つ、
とても一国のトップは務まりません。
という事は長くは政権を維持出来ません。
早ければ一年以内、遅くても3年以内に
今の地位からは外されるでしょう。
又、申の年から健康面でも問題を抱えていて危険です。
丁の酉の年は、後半から翌年にかけて朝鮮半島の情勢からは、
目が離せません。

陽の時代における身の処し方です

平成29年は陽の時代に入って5年目です。
算命学の陰陽説では陰は太陰でお月様の意味、
つまり夜を意味します。

これに対して陽は太陽、昼間を意味します。
今は暗く寂しい夜の時代冬の時代が終わって、明るい温かい
昼の時代、春から夏の時代に入ってきています。
この時代は未来に夢を持てる時代、
何となく心ウキウキする時代です。
しかしこの好機を手に入れる為には、
次の様な事を心がける必要があります。
①常に笑顔を持って下さい。
　笑う門には福来ると言いますが、
　陽の時代に絶対に必要なのは、明るい笑顔です。
②常に人に優しく陽の時代には人に優しく
　暖かく接する事が大切です。
　つまり人の為に出来る限りの事をしてあげる事が肝要なのです。
③苦手な人とも交流をする。
　人は自分と気の合う人とは付き合いますが、
　苦手な人、嫌いな人は避けがちです。
　それでは運勢は開けません。

　むしろそういう人と付き合うようになると、運気が広がります。
④人からの批判を自分の栄養と考える。
　人は批判されるとイライラしがちです。
　しかし人からの批判は自分の栄養素だと考え
　ありがたく受け入れると運気が急に上昇しはじめます
⑤何があっても大丈夫だと言う。
　誰でも人生渡るうえで危機に遭遇する事があります。
　その時に悩んだりする前に、まず大丈夫、
　何があっても大丈夫と口で三回唱えて下さい。
　あっと言う間に悩みが消えて良い方向が示されます。

算命学の開運法は決して難しくはありません。
むしろ実に簡単でしかも単純です。
しかし、その簡単が中に真理があり、
単純さの中に偉大な開運法があるのです。
今年がどの様な星回りであっても

どうかめげずに算命学の開運方法を実践してみて下さい。

□□□□□□□□□□□□

算命学総本校　高尾学館の中村校長の教えです

2016年12月の格言

平成２８年１２月の格言は

経営計画書は
銀行の態度を変える

銀行は金を貸すのが商売である
その銀行が一番心配するのは
貸すことではなくて
返してもらえるか
ということなのである
つまり返済能力である

それを知りたいために銀行はいろいろ手をつくす
しかし頼りになるのは銀行用に粉飾しているかも知れない決算書と
毎月のように変わる資金繰り表だけで
その会社の社長が何を考えどのようにしようとしているかは
社長の話だけではさっぱり分からないのである

そこへ経営計画書が提出されたということであれば
銀行としては願ってもないことである
この瞬間から銀行の態度が変わり
金を借りるのが楽になるのである

さらに実績を毎月報告したら
もういうことなしである
状況のよく分かっている会社と
分からない会社のどちらに銀行は融資するか
いうだけヤボである

一倉定先生著「一倉定の経営心得」事業活動の本質より

2016年11月の格言

平成２８年１１月の格言は

資金は会社存続という面から見れば損益に優先する

「利益が出ていること」と
「資金収支のバランスがとれていること」は
全く別のことである

資金は会社存続という面から見れば
損益に優先するのだ

赤字をいくら出しても
資金が続いている限り倒産することはない

反対に
いくら利益をあげていても資金がショートすれば
会社はつぶれてしまうのである

社長たるもの
「資金は苦手」で済ますわけにはいかない

資金の実態を知り
わが社の事業経営に必要な資金を計画し
調達し運用しなければならないのである

一倉定先生著「一倉定の経営心得」事業活動の本質より

2016年10月の格言

平成２８年１０月の格言は

在庫が危険なのではない
在庫に対する考え方がないのが
危険なのである

在庫恐怖症にかかると
ただ、やみくもに在庫節減をする
ようになってします

特に、経理担当者と社長が重症になる

困ったことには、経理担当者は在庫節減こそ
会社の利益増大法だと思い込んでいる
それ以外のことは何も知らないからだ
ここに危険が伏在する

如何に有効な販売促進も
経理の「それは金利が高くなります」
の一言でつぶれてしまうのだ
「いくら金利が高くなるか」
ということは計算せずにである

これは経理担当者が悪いのではなくて
在庫の正しい考え方を勉強しようとしない
社長に全責任がある

在庫の正しい認識のないままに
ただやみくもに在庫節減をしようとする
だから在庫を減らすシステムが開発されたと聞くと
無批判にこれにとびついて
売上不振という
大やけどをすることになる

一倉定先生著「一倉定の経営心得」事業活動の本質より